

『一生懸命』 幻の新座市議会報告第72弾!



たかむらともや

9月議会

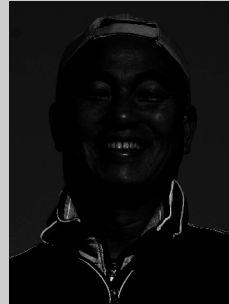
福島原発の放射能汚染が現在進行形で広がっている中、9月議会が終わりました。チェルノブイリの事故では被曝の4年後から小児がんが出ています。チェルノブイリから1000キロ離れたトルコの村で事故の翌年生まれた17人の子達が90年代後半に全員白血病で命を落としたことは、先月号でも紹介しました。1000キロと言ったら、北海道から九州まではいけます。大事なことは、まず調べることです。どこにどれだけの放射性物質があるのか、ないのか。国に任せてはいけません。国は原発推進サイドですから、そもそもこの事故を過小評価したくてしょうがない訳です。調べてくれる訳がない。県にも任せてはおけません。まずは市のレベルで徹底的に調べる。それでも足りないところは学校やPTAや町内会が頑張る。そして、最後は個人で頑張る。それしかないと思います。何としてでも日本の子ども達を放射能から守らなくてはならないのです。何も調べないで「国が大丈夫と言っているから大丈夫」とか「福島のことを考えたら、ここはましなんだから我慢しなきゃ」というのでは話になりません。放射能の怖さがわかっていません。まずは放射線量を測ることから始まるのです。そして、一番心配なのは「内部被曝」です。「内部被曝」には闘地(しきいち、いきちと読みます。意味は、ある反応を起こさせる最低の量)はないのです。語る会はこの9月議会で、市内23の小中学校に食材の放射線測定器を置くように提案しました。市は今回の補正予算で18億も財政調整基金に積み立てたのです。財政調整基金は「まさかの時」の為の貯金です。今、まさかのことが日本中で起きています。川口市は1台130万のこの検査機器を3台買いました。23校×130万円=2990万。18億の中の3000万なんてたったの1.7%です。この非常時に、市民の命と健康の為に使わないでどうするのですか。道路や箱物は無くても生きていけます。市民の命と安全の為に3000万。安いものです。

2011年 9月 30日発行



最近、読んだ本です。どうしても「放射能」に関するものが多いです。子ども達の命と健康は、大人が勉強して守るしかありません。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男です。都立石神井高校を経て北海道大学へ。7年から新座五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。4月より仲間と東北の支援活動を継続的に行っている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。黒目川川づくり懇談会代表。新座の子ども達の命と健康を守る親の会」所属。新座五・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、昨年12月には「インターネットテレビ」に出演。議員日記は7年と7ヶ月毎日更新。市民目線の議会報告を毎月発行。HPへのアクセスは16万5千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え、観光新座ではなく「教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん



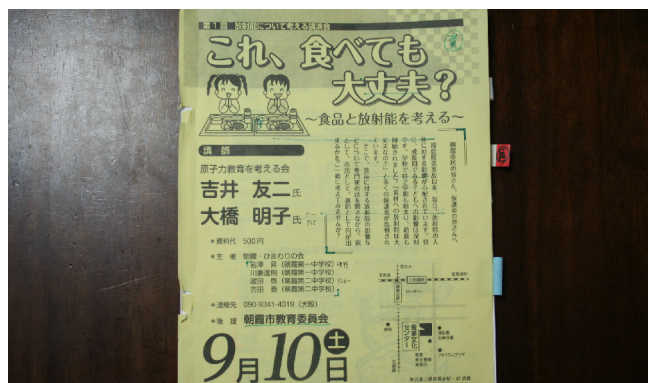
たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ PTAの出番だ！

9月議会ではPTAについても質問しました。学校給食が不安なお母さんは多いと思います。これは当たり前のことです。埼玉県内でも牛乳からセシウムが出ているのです。生協は全ての食材を検査して、その結果を公表しています。消費者の健康や安全に対する意識が高ければ当たり前ですね。あとあらゆる手で「原発は安全だ」「原発はクリーンなエネルギーだ！」「原発がないと未来のエネルギーが大変だ」と原発建設を推進してきた政府を信じる人は、何%いるんでしょうね。原発マネーにまみれた大人達は嘘を言ったりデータをごまかしたりしますよね。我々は自分達の未来を守る為に、そういう歪な輩達にもう騙されてはいけません。そう、もっと怒っていい。児玉龍彦という東大の先生が2011年7月27日（水）衆議院厚生労働委員会で怒りの証言をしています。東大にもこういうまともな先生がいたのだと、まだまだ捨てたものではないな。と感心しました。と同時にこれではいけない。このままではいけない。そう思いました。みなさんも是非、「児玉龍彦」で検索してみてください。そして、全ての学校のPTAのみなさん。（23校の保護者のみなさん）今こそ、PTAが子ども達の為に動く時です。安全な給食を求めていきましょう。不安のままだったら、牛乳拒否だって、弁当だってあります。PTAは学校の下請けではありません。今こそ、子ども達のために全国で立ち上がりはじめた子ども達を守ろう！という意識の高いお母さん達と繋がっていきましょう。



朝霞市では、中学校の理科の先生が中心となって、「これ食べても大丈夫？」という講演会が開かれました。後援は朝霞市教育委員会。意識が高い市を見習っていきましょう。



我が家の三男です。名前はココア。トイプードルで誕生日は7月8日です。何とかトイレトレーニングも終わり、家の中を走り回っています。

③ 母親大会

10/16に野火止公民館で「第37回母親大会」が開催されます。今まで一度も参加したことはありませんが、今回は「放射能に関する公演」もあるので、午前の分科会から午後の全大会まで全てに参加してみようと思っています。詳しくは <http://www.nizahahaoya.net/index.htm> で見てください。

③ 提案

議会で130万×23校という提案をしたところ、傍聴していた市内のお母さんからこういうメールを頂きました。"150万クラスだと天然に存在するカリウム40と、原発から出たヨウ素、セシウムを区別できない機種があります。500万円ぐらいの測定器だと限界値50～20bqぐらいが多いですが、例えば1分測定の限界値が20bqでも、一時間半測れば10bqぐらいまで測れるそうです。2000万円クラスのものなら、短時間で一桁まで測れるようです。" "23校全てに2000万円台の測定器導入は厳しいかもしれないけど、各中学校ブロックに1台ずつで6×500万で3000万円。あと念には念を入れて、市役所に高性能の2000万クラスの測定器を導入してみるのはいかがでしょうか？5000万円の出費になるけど、子供達の健康のためなら安い買い物かと思うんだけど、どうでしょうか！"というものでした。ベラルーシには1校1台の測定器があります。5000万だとしても今回積んだ18億の2.7%。「ふるさと新座館」の建設費15億からみたら33%。高い買い物ではありません。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください！ m(__)m